

泉南市樽井駅周辺地区 バリアフリー基本構想改定協議会 (第1回)

令和7年8月6日

次 第

1. 開会
2. 副市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長・副会長の選出
5. 議題：樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想改定について
6. ヒアリングの調査について
7. 今後の予定について
8. 閉会

1. 開会

2. 副市長のあいさつ

3. 委員紹介

※委員名簿（出席者名簿）をご覧ください

4. 会長・副会長の選出

※協議会規則をご覧ください

5. 議題

樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想改定について

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

- (1) 上位計画について
- (2) 見直しの背景
- (3) 現行計画の概要
- (4) 特定事業の進捗

2. 地域の現状と課題の整理

- (1) 現状の整理
- (2) 課題の整理

3. 見直しに伴う変更箇所

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

(1) 上位計画について

■ 泉南市のバリアフリーの考え方

第6次総合計画で「ちょっとええやん・なかなかええやん（かんじる つながる 住人十色のまちせんなん）」という基本理念を設定し、「誰もが自分にとっての幸せを選べるまち」をめざしています。

その実現のために、誰もが社会的障壁を感じることなく、出かけられる共生社会をめざします。



1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■バリアフリー基本構想とは

旅客施設を中心とした地区や、高齢者、障害者等が利用する施設が集積している地区において、公共交通機関、道路、路外駐車場、都市公園、建築物等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進するために、市町村が作成する**具体的な事業を位置づけた計画**。
基本構想の作成を通じて施設管理者相互の連携・調整を行い、移動の連続性の観点から**面的・一体的なバリアフリー化が可能**となる。

○ 移動等円滑化に係る基本的な方針

- 基本構想の位置づけ、作成の背景、重点整備地区の特性、計画期間等を記載。

○ バリアフリーマップの作成等に関する事項

- 市町村の求めに応じて提供すべき情報の内容等を記載。

◎ 重点整備地区

● 重点整備地区の位置・区域

- 重点整備地区の位置、地区の範囲、地区の境界設定の考え方を記載。

● 生活関連施設・生活関連経路

- 生活関連施設（3以上）、生活関連経路を位置づけ。
- 生活関連施設、生活関連経路に関するバリアフリー化に関する事項を記載。

● 実施すべき特定事業に関する事項

[R2.6.19「教育啓発特定事業」追加]

- 事業内容 ・ 対象施設
- 事業者 ・ 整備内容
- 事業実施時期等を記載。

● 移動等円滑化のために必要な事項

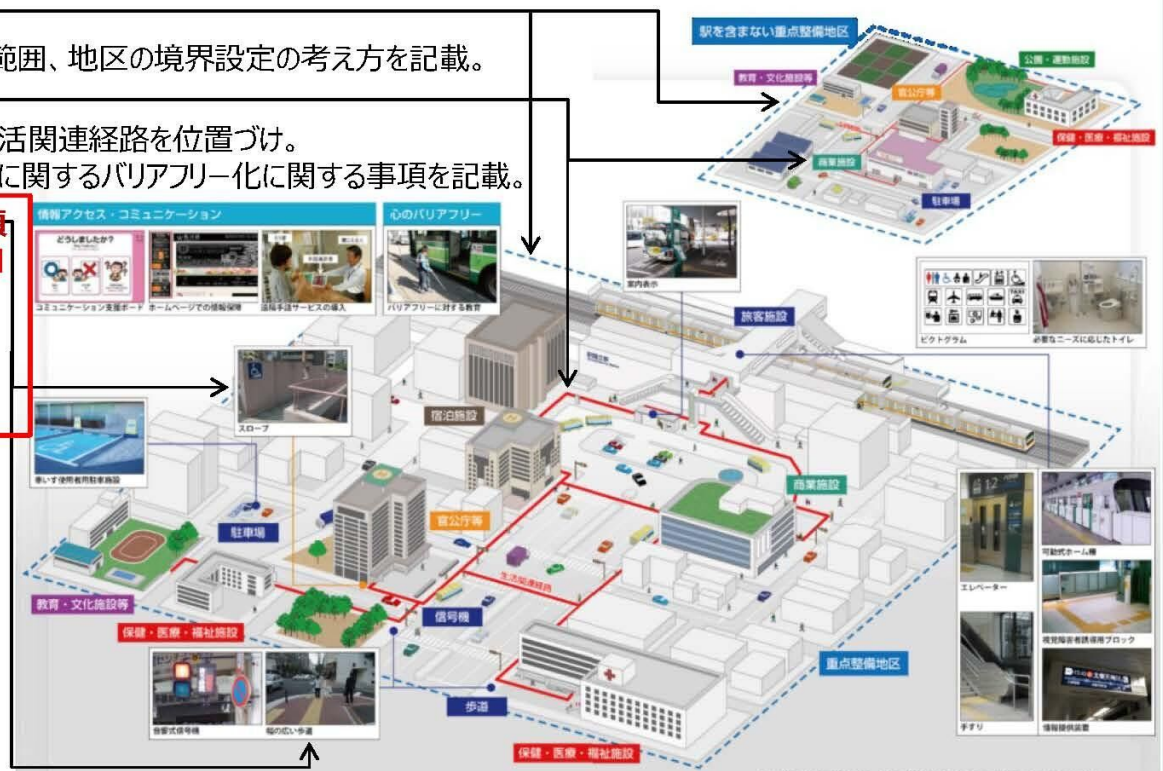
- 重点整備地区におけるバリアフリー化に関する事項を記載。

☆ 市街地開発事業との調整

☆ 駐輪施設の整備等の市街地改善

☆ 交通手段の充実

☆ ソフト施策 等



※凡例：◎必須記載事項、○任意記載事項

国土交通省HPより

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■ 泉南市全体における地区の位置づけ

○ 樽井駅周辺地区

本市玄関口にふさわしい商業業務地としてバリアフリー化を重点的に進める地区として設定します。

○ 岡田浦駅周辺地区

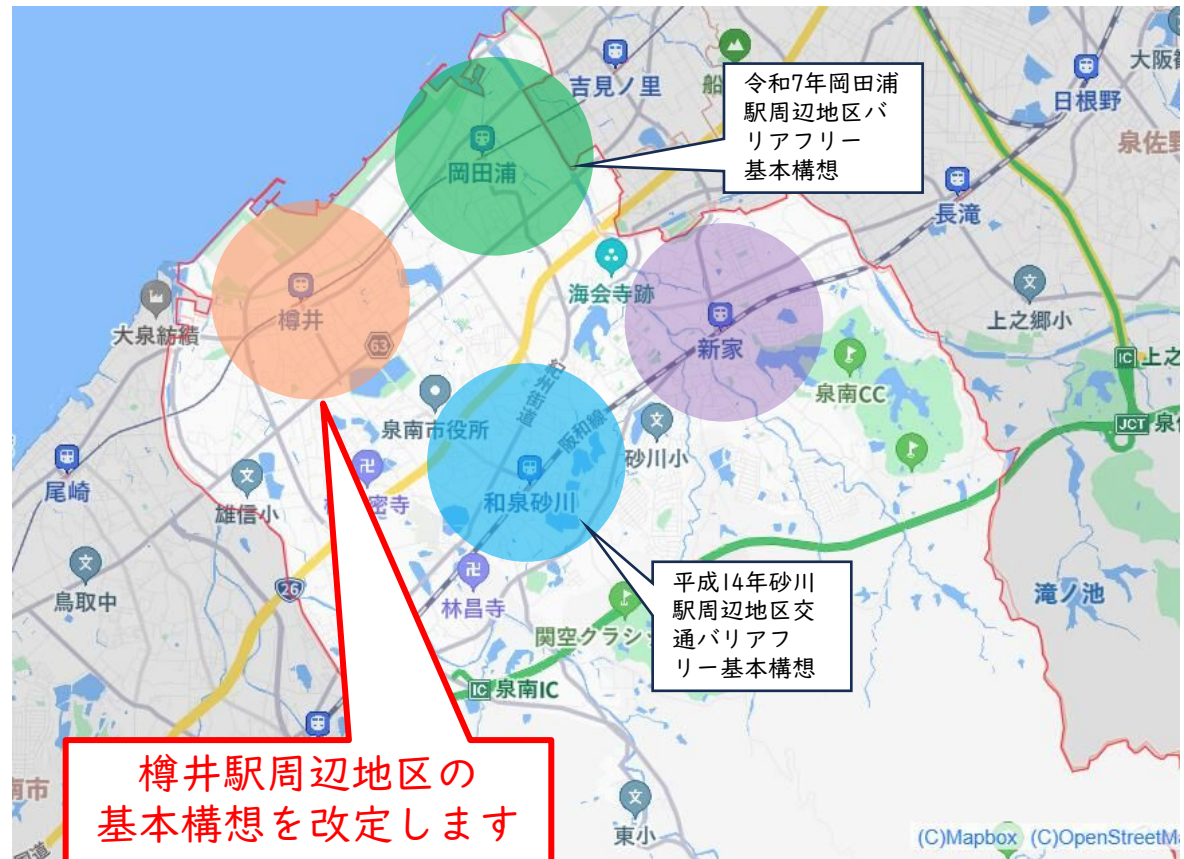
近隣商業地として日常サービス施設の集積を高め、面的なバリアフリー検討地区として設定します。

○ 和泉砂川駅周辺地区

本市玄関口にふさわしい商業・業務地として、面的なバリアフリー検討地区として設定します。

○ 新家駅周辺地区

近隣商業地として日常サービス施設の集積を高め、面的なバリアフリー検討地区として設定します。



1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

(2) 見直しの背景

平成24年度に策定した「樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想」について、見直しを行うこととなった。

■見直しを行う理由

- 前回計画の目標年となるため

- 2020年のバリアフリー法改定に伴い、生活関連施設、生活関連経路、準生活関連経路の見直しを行う

- 前回計画策定からバリアフリー整備が進んでいるため整備状況の確認と施策の見直しを行う

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■バリアフリー法改正の流れ

年度	法令	備考
平成18年度	バリアフリー法 施行	建築物、旅客施設と車両等、道路、路外駐車場、都市公園のバリアフリー化を促進するための法律
平成30年度	改正バリアフリー法 施行	「共生社会の実現」「社会的障壁の除去」を基本理念とし、更なるバリアフリー化を推進するために改正
令和2年度	改正バリアフリー法 施行	公共交通事業者等におけるソフト対策の強化や「心のバリアフリー」が教育啓発特定事業に位置付けられるなどの改正
令和3年度	改正バリアフリー法 施行	公立小中学校等を特別特定建築物に追加
令和4年度	道路の移動等円滑化に関するガイドラインの改定	踏切道での安全対策を追加（踏切道付近の視覚障害者誘導用ブロックの設置方法等）
令和7年度	バリアフリー法の政令 改正	車椅子使用者用トイレの設置数に係る基準の見直し 車椅子使用者用駐車施設の設置数に係る基準の見直し 車椅子使用者用客席の設置数に係る基準の見直し

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■ 今回の基本構想改定のポイント

- ・ 目標年次の更新
- ・ 10年前に設定した計画の実施状況の把握と評価の実施
- ・ 重点整備地区の変更
- ・ 生活関連施設の追加
- ・ 生活関連経路の変更
- ・ 準生活関連経路の変更
- ・ 基本理念と基本方針は見直しを行わない

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■基本構想の目標年次（案）

現計画の目標年次：令和2年（2020年）



見直し後の目標年次：10年後の令和17年（2035年）

＊ただし、5年後をめぐりに取組み状況を確認し、必要に応じて見直す

	現行	見直し後
短期目標	平成25年（2013年）度 ～平成27年（2015年）度	令和8年（2026年）度 ～令和10年（2028年）度
中期目標	平成28年（2016年）度 ～令和2年（2020年）度	令和8年（2026年）度 ～令和12年（2030年）度
長期目標	令和3年（2021年）度以降	令和13年（2031年）度 ～令和17年（2035）度

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

(3) 現行計画の概要

■基本構想策定の目的

バリアフリー法の目的は、高齢者や障害者、妊産婦、けが人などの移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進することです。

このような認識のもと本市においては、「お互いが自然と助けあえ誰もが暮らしやすいまちづくり」を進めていくため、駅を中心とした人が多く集まる地区についてバリアフリー化事業が確実に進むよう基本構想を平成24年度に策定しました。

■基本理念と基本方針

【基本理念】

みんなでつくる温もりのあるまちづくり

【基本方針】

- ①みんなが歩きやすいみち、語らいの空間としてのみちのネットワークを確立します。
- ②みんなが利用しやすく、サービスに長けた公共交通機関・生活関連施設を目指します。
- ③みんなの思いやりと、助け合いの気持ちを育みます。

I. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■現在の重点整備地区

○重点整備地区の考え方

- ・南海電鉄樽井駅を中心とした徒歩圏内（約1km以内）とする。
- ・多くの高齢者、障害者等が利用する生活関連施設がある。
- ・バリアフリー化を重点的、一体的に実施することが可能である。
- ・道路、河川、鉄道などの地形地物を境界とする。

○重点整備地区の設定

- ・多くの高齢者、障がい者等に交流と社会参加の機会を提供する「あいぴあ泉南」から、消費生活の場を提供する「イオンモールりんくう泉南」までの約88haを重点整備地区に設定する。

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■現在の生活関連施設

○生活関連施設の考え方

- ・ 高齢者、障害者等だけでなく、多くの人が利用する施設
- ・ 高齢者、障害者等が常時利用する施設
- ・ 泉南市総合防災マップに記載されている指定避難場所

○生活関連施設の設定

分類	施設名	選定理由
旅客施設	南海樽井駅	多くの人が利用し、当該地区の中心となる施設であるため。
公共施設	樽井公民館 (指定避難場所)	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会を与える場であるため。
	樽井区民センター	
保健・医療・福祉施設など	あいぴあ泉南	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会を与える場であるため。
	新泉南病院	高齢者、障害者等だけでなく、多くの人が利用する施設であるため。
	たるい保育園	多くの乳幼児づれの方が利用する施設であるため。
公園・運動施設	市民体育館	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に交流の機会を与える場であるため。
商業施設など	イオンモールりんくう泉南	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に消費生活の場を提供する施設であるため。
	泉南郵便局	
	泉南樽井郵便局	

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■現在の生活関連経路

○生活関連経路の考え方

- ・より多くの人が利用する経路を選定
- ・生活関連施設相互のネットワークを確保する経路を設定

○生活関連経路の種類

- ・生活関連経路：生活関連施設の中でも、特に利用者が多い施設をネットワークする経路であり、道路移動等円滑化基準を満足すべき道路

番号	路線名	管理者	区間
①	市道信達樽井線	泉南市	南海本線跨線橋～あいぴあ泉南
②	市道信達樽井線 市道りんくう南周回線	泉南市	南海本線跨線橋～イオンモールりんくう泉南

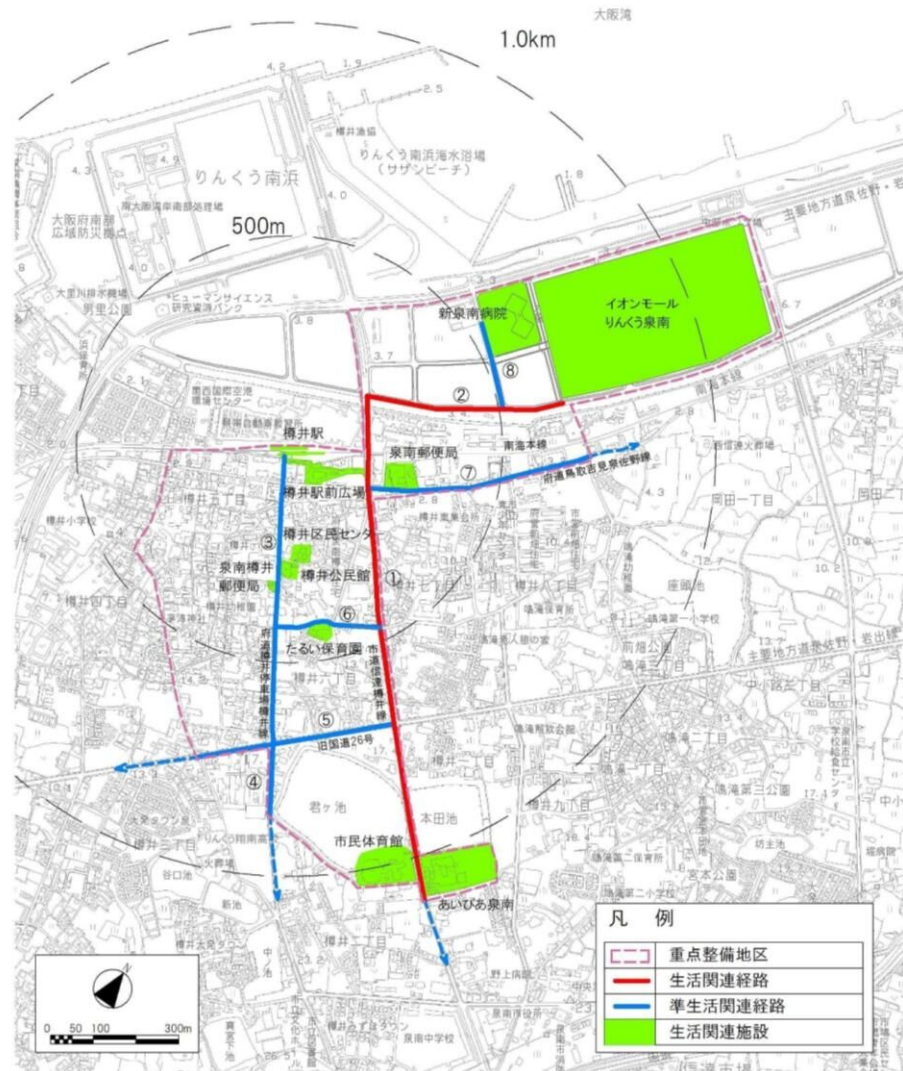
1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

- ・ 準生活関連経路：生活関連施設をネットワークするための生活関連経路のうち、できる範囲でのバリアフリー整備を進める道路

番号	路線名	管理者	区間
③	府道樽井停車場樽井線	大阪府	樽井駅～樽井交差点
④	市道府立高校砂川変電所前線	泉南市	樽井交差点～りんくう翔南高校
⑤	旧国道26号 (主要地方道泉佐野岩出線)	大阪府	樽井交差点～重点整備地区境界
⑥	市道茅渟神社鳴滝線	泉南市	府道樽井停車場樽井線～市道信達樽井線
⑦	府道鳥取吉見泉佐野線	大阪府	樽井駅東交差点～重点整備地区境界
⑧	市道りんくう南10号線	泉南市	りんくう南周回線～新泉南病院

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■樽井駅周辺重点整備地区および生活関連施設、生活関連経路図（現行）



1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■心のバリアフリーの推進

- 高齢者や障害者等支援を必要とされる方が自立した日常生活や社会生活を送るためには、社会全体で理解を深め、お互い支え合うことができる社会を実現していくことが必要です。
- 市民一人ひとりが、支援を必要とされる方の考えるバリアやどのような支援が必要であるかを理解するとともに、時には自分の行動がバリアになりえるということを認識し、バリアをなくす行動につなげる「心のバリアフリー」を推進することが重要です。
- お互いが支え合うことができる社会実現のため、「心のバリアフリー」施策を推進していきます。

車いす体験の様子



1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

(4) 事業の進捗状況（主なものを抜粋）

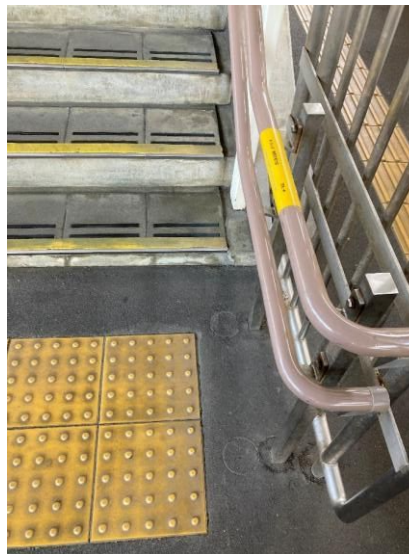
■公共交通特定事業（南海樽井駅）

南海樽井駅

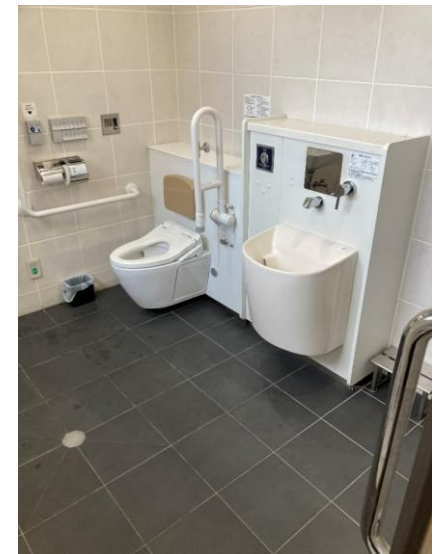
箇所	整備目的	整備内容	事業主体	令和7年調査結果
階段及び通路	移動円滑化 及び 利用円滑化	エレベーター設置	南海電鉄	設置済み
		階段の手すりの改修	南海電鉄	整備済み
		階段の端部の標示	南海電鉄	整備済み
トイレ	機能の充実	オストメイト対応	南海電鉄	整備済み



エレベーター設置



階段手すりの改修



オストメイト対応トイレ

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■建築物特定事業（あいぴあ泉南・市民体育館）

あいぴあ泉南

箇所	整備目的	整備内容	事業主体	令和7年調査結果
施設全体	移動の円滑化	視覚障害者誘導用ブロックの整備 (JIS)	泉南市	整備済み
	情報の充実	情報提供装置の導入	泉南市	設置済み

市民体育館

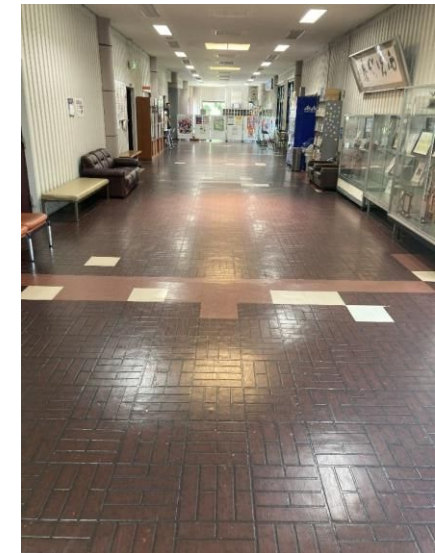
箇所	整備目的	整備内容	事業主体	令和7年調査結果
施設全体	移動円滑化 及び 利用円滑化	自動ドア、車椅子対応トイレ、誘導ブロック等	泉南市	入口の自動ドア、車椅子対応トイレは整備済み 誘導ブロックは一部整備済み



誘導ブロック・情報装置



車いす対応トイレ



誘導ブロック（未整備）

1. 樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直しについて

■道路特定事業（市道信達樽井線、市道りんくう南周回線）

市道信達樽井線

箇所	整備目的	整備内容	事業主体	令和7年調査結果
歩道	歩き易い空間への改良	歩道の拡幅整備	泉南市	一部整備済み
樽井北交差点	安全な通行	視覚障害者誘導用ブロックの整備(JIS)	泉南市	未整備

市道りんくう南周回線

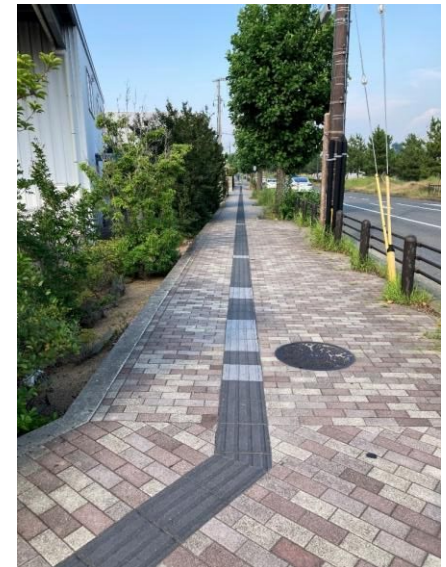
箇所	整備目的	整備内容	事業主体	令和7年調査結果
歩道	安全な通行	視覚障害者誘導用ブロックの整備(JIS)	泉南市	整備済み



歩道の拡幅整備



誘導ブロック（未整備）

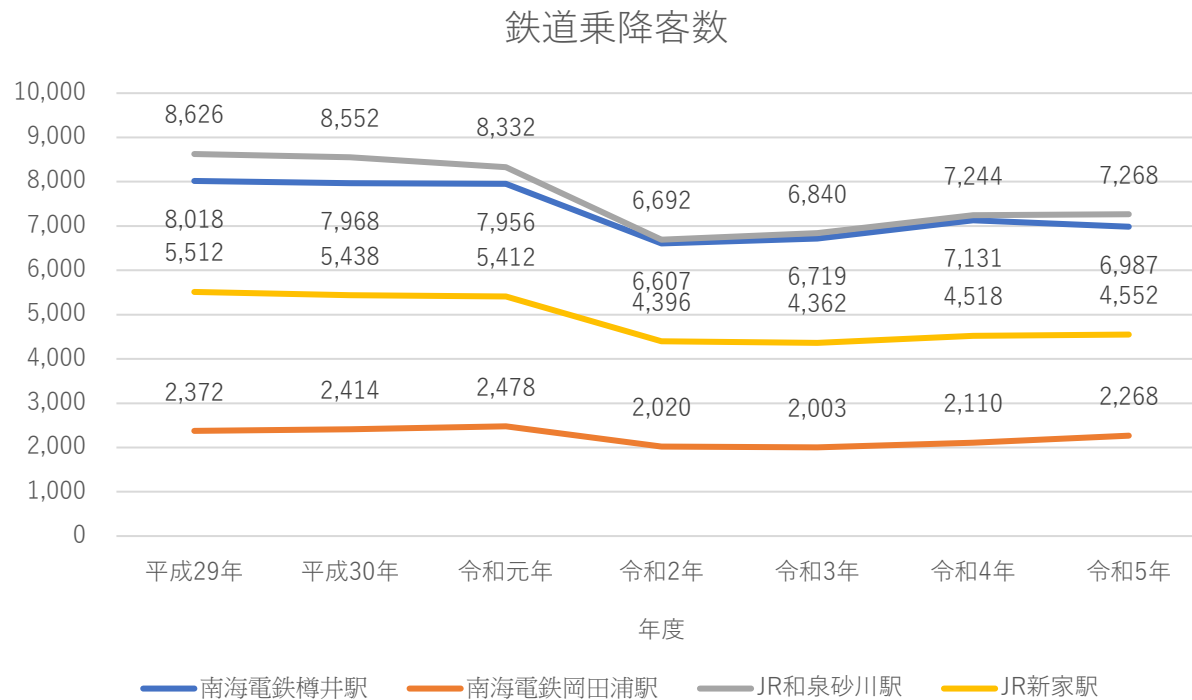


誘導ブロック

2. 地域の現状と課題の整理

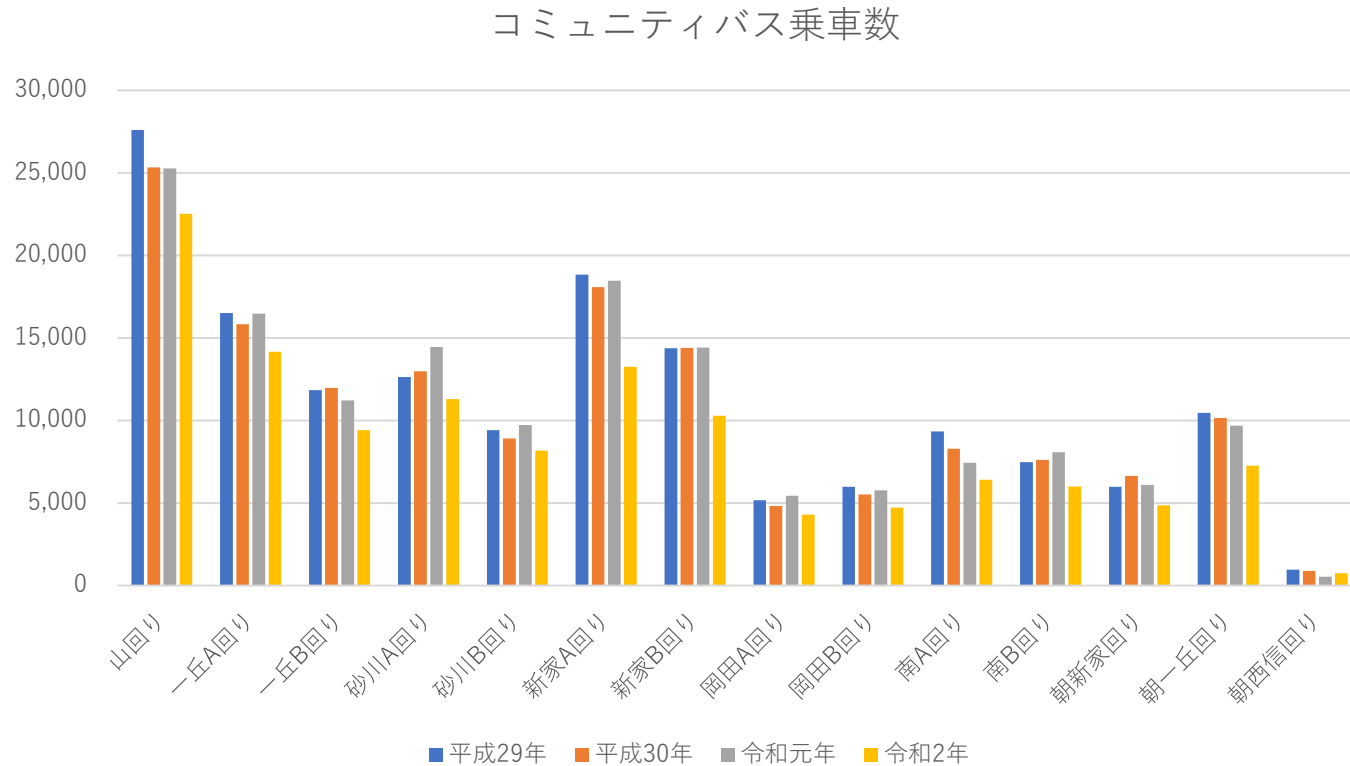
(1) 現状の整理

■ 鉄道駅乗降客数



2. 地域の現状と課題の整理

■ コミュニティバス乗車数



2. 地域の現状と課題の整理

(2) 課題の整理

■地区を取り巻く課題の整理

- 樽井駅周辺は、商業施設や高校、福祉施設等の生活に必要な施設が集約している住宅地となっています。
- 樽井駅の乗降客数は減少傾向にあるものの、約7,000人／日の乗降客数があり、多様な人が利用しています。
- 泉南市の高齢化率は、令和2年で30％と平成22年の23％よりも1.3倍となっており、今後も高齢化が進むと考えられています。
- 駅や施設、それらを結ぶ経路を、誰もが安心して利用できるよう、より一層のバリアフリー化が求められています。
- 成熟した社会に合わせ、多様な人が暮らしやすい社会の実現が求められています。
- このようなことから、障がい者や高齢者、妊産婦や乳幼児連れ、外国人等、それぞれが持つ状況の理解と配慮ができるよう、互いに理解を深め、支え合う心のバリアフリーの推進が必要です。

3. 見直しに伴う変更箇所（案）

■りんくう翔南高校

新たに生活関連施設に指定



スロープ設置



エレベーター設置



車いす対応トイレ

3. 見直しに伴う変更箇所（案）

■旧国道26号

準生活関連経路 ⇒ 生活関連経路に見直し



舗装面改善（未整備）



セミフラット化



誘導ブロック改修（未整備）

6. ヒアリングの調査について

※ヒアリング調査シートをご覧ください

7. 今後の予定について

今後の予定

第1回協議会（2025年8月6日）

- ・ 委員紹介、今後のスケジュール説明、課題の整理

第2回協議会（2025年9月25日）

- ・ タウンウォッチング（まち歩き）、意見交換会

第3回協議会（2025年11月26日）

- ・ バリアフリー基本構想（素案）について

第4回協議会（2026年2月4日）

- ・ バリアフリー基本構想（案）の確認

パブリックコメントの掲載について（2025年12月上旬～12月下旬予定）

- ・ バリアフリー基本構想（素案）について

8. 閉会